

第1回津軽ダム水源地域ビジョン策定委員会 開催のお知らせ

津軽ダムでは、下記のとおり「第1回津軽ダム水源地域ビジョン策定委員会」を開催します。

本委員会は、ダム完成後におけるダム周辺の豊かな自然環境、歴史、文化、観光資源、人材などを活用した、水源地域の自立的・持続的な活性化の方策及び関係行政機関が行う支援方策などを定める「津軽ダム水源地域ビジョン」を策定することを目的としております。

- 開催日時：平成26年10月17日（金） 13:30～15:30
- 開催場所：弘前市立観光館 2階研修室
（弘前市大字下白銀町2-1（追手門広場内） TEL0172-37-5501）
- 委員会名：津軽ダム水源地域ビジョン策定委員会
（設置者：津軽ダム工事事務所長）
- 設立趣意他：設立趣意書、委員名簿（案） （別紙）

＜＜発表記者會：弘前市記者會、専門記者會＞＞

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 津軽ダム工事事務所
〒036-1411 中津軽郡西目屋村田代字神田57
電話：0172-85-3005(代表) Fax：0172-85-3008

調査設計課長 遠藤 俊彦 (内線351)

建設専門官 かねえ 金枝 富勝 (内線402)

津軽ダム水源地域ビジョン策定委員会

設立趣意書（案）

津軽ダムは、昭和35年に岩木川総合開発事業の一環として完成した目屋ダムの再開発事業として、世界自然遺産白神山地の雁森岳に源を発する、津軽の母なる川である「岩木川」に建設を進めております。

津軽ダム建設事業は、平成3年度から建設に着手し、平成28年度の完成を目指しております。

現在、ダム本来の機能である治水・利水のみならず、ダムを活かした水源地域の自立的・持続的な活性化を図り、水環境などに果たす水源地域の機能を維持するとともに、自然豊かな水辺環境や多様な地域資源を広く利用できるよう、ハード・ソフト両面の総合的な整備により流域内の連携と交流によるバランスのとれた流域の発展を図ることが期待されております。

このため、国土交通省では、関係行政機関や流域の関係者の理解を得ながら、水源地域の自治体、住民の皆さんと共同でダム毎に「水源地域ビジョン」を策定し、水源地域の活性化を積極的に推進することとしております。

津軽ダムでは、適切なダム管理及びダム周辺の豊かな自然環境、歴史、文化、観光資源、人材などを活用した、水源地域と下流地域の流域共同体意識の醸成及び水源地域の自立的・持続的な活性化の方策及び関係行政機関が行う支援方策などを定める「津軽ダム水源地域ビジョン」を策定するために、有識者・関係行政機関・流域の自治体・流域の住民の皆さん・ダム管理者などによる「津軽ダム水源地域ビジョン策定委員会」を設立するものです。

津軽ダム水源地域ビジョン策定委員会の委員（案）

- 1) 学識者
- 香取 薫 : 青森公立大学 学長
佐々木 幹夫 : 八戸工業大学工学部 教授
東 信行 : 弘前大学農学生命科学部 准教授
- 2) 地域代表者
- 桂田 正春 : 西目屋村 村議会議員議長
佐藤 武由 : 西目屋村 村議会議員副議長
- 3) 広域連携
- 清藤 哲夫 : 弘前観光コンベンション協会 会長
永澤 弘夫 : 弘前商工会議所 会頭
南 直之進 : あおもりの川を愛する会親しめる川づくりサークル リーダー
夏坂 昌芳 : 東奥日報社弘前支社 編集部長・論説委員
石岡 由美子 : 陸奥新報社 編集局報道部長
- 4) 行政機関
- 関 和典 : 西目屋村長
奈良 信秀 : 青森県 県土整備部長
長内 清美 : 弘前市 建設部長
佐山 光則 : 東北森林管理局 津軽森林管理署長
佐々木 健 : 弘前市教育委員会 教育長
長利 允弘 : 西目屋村教育委員会 教育長
鈴木 研司 : 東北地方整備局 河川部長
山谷 博志 : 東北地方整備局 津軽ダム工事事務所長

計 18名 (順不同・敬称略)